|法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。

■法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関 人材養成 与できる法律のプロフェッショナルを養成する。

【知識•理解】

■①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。

②法律学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。

【思考·判断】

③リーガルマインドに基づき、基礎的な法律の知識から論理的に考える能力を修得しており、その知識を使って現代社会の問題を分析し考察することができる。 学位授与 ④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。

方針 【関心·意欲·態度】 ⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。

⑥グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につけている。

【技能・表現】

|⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。

■8良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。

		大学共通												
	八人社会日然科子を基礎とした幅広い教養を身につけている。			グループで協力しながら問題を発見し解決する態度、生涯学び 続け成長し続ける意欲と態度を身につける。			どのような職業においても必要とされる、法律学の基礎知識を習得したうえで、法律学に裏打ちされた論理的思考力、ならびに、その活用方法を身についる。							現代社会の多様な フィールドにおける諸 課題の解決に向け て、法律の枠を超え た総合的で的確な考 察をする。
学位授与 の方針 (再表現)	母語以外の言語で 多様な人との基礎的 なコミュニケーション をとるための基本的 な語学力を身につけ る。	社会の基本構造や 多様な人々の考え方 を知り、自身が社会 にどのようにかか わっていくか考える ための基本的な知識 を修得する	社会人として中長期 的な人生設計に基づ き活躍していくため の基本的な知識・技 能を修得する	社会をより深く理解 することで湧いてき た課題意識を基に、 答えのない課題に主 体的に取り組む力を 身につける。	身に着けた専門性を 活用し、グループで 協力しながら問題解 決に取り組むことで、 「論理的思考力」と 「課題解決力」を身に つける。	社会とのつながりを 意識し、自己の経験 を内省することで、生 涯にわたって学び成 長する意欲と態度を 身につける。	社会一般で必要とされる基礎的な法律の体系を理解し、法律を使って考える能力を修得する。	基礎的な法律のな法律のな法専門分野とを分析し考察す	の知識体系を使って、様々 とかかわる現代社会の問題 「ることができる。	学んだ法律の体系 的知識を補完すると ともに、発展的知識 を身につける。	学んだ法律の体系的知識を活用し、実習を通して課題解決能力とリスクマネジメントの知識を身につける。	学んだ法律の体系 的知識を活用し、企 業法務と組織運営の 実践力を身につけ る。	学んだ法律の体系 的知識を活用し、資 格取得に必要とされ る専門知識を修得す る。	法律の隣接科目の 知識を修得する。
科目区分	外国語	教養教育	☆礎科目・	実習	演習・	l ゼミ科目	基礎科目		専門科目	特別講座科目	リスクマネジメント科目	企業実務科目	資格講座科目	関連科目
4年					専門演習B	キャリア・チュートリアル・								
3年			キャリアプラン実践		専門演習A	キャリア・チュートリアル3		債債地行行環企企稅稅 一种	労働法1 労働法2 国際政治学1 国際政治学2 国際法 外国法 登記法1 登記法2 知的財産法		リスクマネジメント各論1 リスクマネジメント各論2 リスクマネジメント実習2			租税論
2年	※日本語3	外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン		法律学基礎セミナー1 法律学基礎セミナー2			債権総論 物権法 担保物権法 民事訴訟法1 民事訴訟法2 民法総論 刑法各論	行政法総論	法政特別講座2(私法)	リスクマネジメント実習1	ビジネス実務法務論1	法職基礎講座(私法1) 法職基礎講座(私法2) 法職発展講座(不動産) 法職発展講座(公法)	国際社会学 財政学入門
	英語1A 英語2A 英語2B 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中本語語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 1 ※日本語2	外国史 日本文学 心理学 法学 経済学			入門セミナー2	キャリア・チュートリアル1		親族法相続法			リスクマネジメント入門		法職基礎講座(公法)	ビジネスとコミュニケーション

(1)共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群に |区分する。

①学修の基礎となる知識やスキルの修得のため「入門セミナー1」、「入門セミナー2」を必修として、また「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表 ②外国語運用能力の修得、特に英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。その他にも英語・ドイツ語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。【知識・理解、

|思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ③豊かな人間性と高い教養を身につけるべく教養教育科目群において、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・

|④キャリア意識をそだてるために、「キャリアデザイン」を必修として、「インターンシップ」、「インターンシップ事前事後指導」等の科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ⑤高度情報化社会の中で活躍できる人材として必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」、「データサイエンス」、「数学と社会」の各科目を配置する。【知

Ī識·理解、思考·判断、関心·意欲·態度、技能·表現】

|教育課程

編成方針 (2)専門教育科目では、専門科目群、特別講座科目群、リスクマネジメント科目群、企業実務科目群、資格講座科目群、関連科目群、演習群の7つに科目群区分する。

①専門科目群は、学生に学年を追って段階的に科目同士の関連性や法的体系性を認識させ、その関連性・体系性から導かれる法的論理力・思考力を涵養させるべく「憲法1・2」、「法律学入門1・2」、「民法総則1・2」等を配置す る。また、民法をはじめとする「物権法」、「債権総論」、「刑法総論」等を配置する。さらに、プレゼンテーションや協働能力の向上のために「キャリア・チュートリアル1~4」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技 l能∙表現】 |②特別講座科目群は、専門科目群だけでは不十分な法律科目の学習を補助する科目や法律に限らない特殊な内容を学ぶために「法政特別講座1~4」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度】

③リスクマネジメント科目群は、「リスクマネジメントコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、リスクマネジメントの知識を入門から実践まで体系的に学ぶことができる科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・ **Ⅰ態度、技能・表現**】

|④企業実務科目群は、「キャリアコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、企業の組織運営と企業法務の知識を実践的に学ぶことができる科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 【⑤資格講座科目群は、学生が関心や将来の進路に応じて資格取得を目指すことができるように「法職入門講座」、「法職基礎講座」、「法職発展講座」等を配置する。【知識・理解、思考・判断、技能・表現】

【⑥関連科目群は、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。【知識・理解、技能・表現】

【⑦演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため「専門演習A・B」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・ 態度、技能・表現】

【知識•技能】

|①高等学校の教育課程を幅広く修得している。

②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。

【思考・判断・表現】

|③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。 |【主体性・協働して学ぶ態度】

④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。 ⑤法律学の知識やリーガルマインド及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。

⑤経済学や経営学の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。

赤字は実習科目

現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。 現代ビジネス学部地域経済学科は、経済学や経営学に関する基本的な知識を身につけ、企業や地域の組織体での就労を通して産業や地域社会に貢献する中堅的な人材を養成する。 【知識•理解】 ①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。 ②経済学や経営学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。 【思考·判断】 ③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。 学位授与 (全) では、 一) には、 一) では、 ⑤地域社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、地域社会に貢献することができる。 ⑥多様な人々との交流、連携、協働を通じて、社会人として成長し続ける意欲と態度を身につけている。 【技能·表現】 ⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。 ⑧良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。

		大学共通		現化	代ビジネス学部均	共通	1						
		は礎とした幅広い教養を.		ための力を身につける。		(2))			おける課題をより深く理解				社会の仕組みの理解 を深めたり、社会への 参加の意識と可能性 を広げるために活用で きる知識と技能を学 部・学科の専門領域を 超えて広く修得する
学位授与 の方針 (再表現)		社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき 活躍していくための基 本的な知識・技能を修 得する	る。	るべきことを特定する	地域の状況を、歴史、 地域特性、政策、地域 企業の状況などから 把握し、グローバル化 の進展する世界にお いて地域社会でどの ように生きていくか考 えるための基礎的な 知識を修得する。	いくための基盤的な知		ジネスリーダーとして 地域貢献ができる力を	挑戦し、これからの未 来を作り上げていく、 知識と行動力を備えた	もに観光学の基礎的	成を通して地域社会	礎的な知識と技能を
4年	外国語	教養教育	基礎科目・ キャリア・実技	実習	演習科目 卒業研究	基礎科目	基幹科目	経済コース	経営コース	地域づくりコース	観光ビジネスコース	スポーツマネジメントコース	関連科目
3年			キャリアプラン実践		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		地方財政論 グローバル経済論	租税論 経済統計 応用経済学				スポーツ社会学スポーツ心理学スポーツ・レクリエーション指導演習	国際政治学1 国際政治学2 国際法
2年		外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学		インターンシップ 海外語学実習 海外社会実習	専門演習Ⅱ	北九州学ビジネスと法律	地域経済論学 マクー経 国労財金統会会経流企 マクー経 野働政融計計計営通業 一的 会議 がいまり かい	経済学史 社会保障論 経済金融論 経済数学 環境経済論 国際貿易論	経営管理論	都市とコミュニティ 地域づくり実習 I	観光ビジネス論 観光マーケティング論 観光プラン実践 I	コーチング論 スポーツマネジメント概論 イベントプランニング 発育発達論 スポーツバイオメカニクス論	TOEIC 1 TOEIC 2
	英語1B 英語2A 英語2B 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・フィティング2 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語 I ドイツ語 I 中国語 I 中国語 I 韓国語 I 韓国語 I 韓国語 I オンドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I	日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学	情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル (情報リテラシーと調査)	地域連携(土地貢献) 地域連携(土会貢献)	入門セミナー1 入門セミナー2	経済学入門 マネジメント入門 グローバル・スタディーズ入門	ミクロ経済学 経営戦略論 会計学1 観光概論 対人コミュニケーション論						ビジネスとコミュニケーション 民法総則 憲法1 法学概論
教育課程	①学修の基礎となる ②外国語運用能力的 能・表現】 ③豊かな人間性と高 ④キャリア意識をそ ⑤高度情報化社会の 欲・態度、技能・表現	が知識やスキルの修存の修得、特に英語の の修得、特に英語の 高い教養を身につける だてるために、「キャの中で活躍できる人。 見】	导のため「入門セミナ運用能力の修得のため「 運用能力の修得のたるべく教養教育科目を リアデザイン」を必修材として必要な情報「	・一1」、「入門セミナ・ とめ、「英語1A」、「英 詳において、人文・社 逐として、「インターン?	-2」を必修として、記語1B」、「英語2A」 :語1B」、「英語2A」 :会・自然の各領域の シップ」、「インターン な能力の修得のため	また「アカデミックスキ」、「英語2B」を必修。)、「英語2B」を必修。 D科目を配置する。ま シップ事前事後指導)、「情報処理演習」、	テル(思考)」、「アカテ として配置する。その また、地域に根差した 『」等の科目を配置す	ミックスキル(表現) 他にも英語・ドイツ語 人材育成のため「地る。【知識・理解、思	べく基幹教育科目群」を配置する。【知識・語・韓国語・中国語・イ ・韓国語・中国語・イ ・対連携」に関わる科 考・判断、関心・意欲 調査)」、「データサイエ	・理解、思考・判断、「 'ンドネシア語の科目 目を配置する。【知語 ・態度、技能・表現】	関心・意欲・態度、技を配置する。【知識・ を配置する。【知識・ 哉・理解、思考・判断、	能·表現】 理解、思考·判断、閉 関心·意欲·態度、抗	支能∙表現】
編成方針	①基礎科目群は、約 力等を身につけるへ ②基幹科目群は、ク 領域における専門的 ③コース科目群は、「経済コース」、「経済 コース科目の履修を ④関連科目群は、勢	経済学・経営学の基礎 さく「プラン&プラクテ ブローバル化の進む 対基礎知識を体系的 地域社会の具体的で 営コース」、「地域でくる ・ 推奨する。】知識・ 野員免許取得に必要 で修得できた知識も	と科目である「経済学ィクス」を配置する。「経済社会、ならびには 経済社会、ならびには に修得する。【知識・ は問題解決を行い、名 りコース」、「観光ビジ と解、思考・判断、関係 な科目やコミュニケー シスキルを統合すると	全入門」、「マネジメン 【知識・理解、思考・半 也元北九州の地域特 理解、思考・判断】 各学問領域における ジネスコース」、「スポ 心・意欲・態度】 ーションスキルを養う	ト入門」を必修として 川断、関心・意欲・態性を理解するため「 専門知識を現場では ーツマネジメントコー ための科目等を配置	配置する。また、PE 度、技能・表現】 地域経済論入門」を が用できるよう、各コース」のいずれかに所 置する。【知識・理解、	・学科の必修科目とし ースで必要とされる専 f属する。なお、所属 技能・表現】	て配置する。さらに係 門科目を必修化し、 のコース科目で生ま	方策を学生に考えさせ 経営学的な思考を身、それに関連する科目 れた新たな関心・意名 、必修科目として「専	につけるために「会言 目を学問系列ごとにう 汝に応え、幅広い学「	†学1~3」、「経営組 }けて5つのコース科 問領域における専門:	織論」等を配置し、総論」等を配置し、総語し、総理を 目として配置する。 5 知識を体系的に修得	経済・経営の各学問学生は5つのコースけるため、他の
入学者 受入れ 方針	②高等学校までの「 【思考・判断・表現】 ③現代社会の問題! 【主体性・協働して当 ④クラブ活動、委員	について、知識や情: 学ぶ態度】 会活動や社会奉仕等	や「英語」の履修を説 報をもとに筋道立てで 等を通じて、多様な人	通じて、基礎的なコミ て考え、その内容をれ 、々と協働して主体的	っかりやすく表現でき に学ぶ姿勢を身に	きる。 つけている。							

入学者 受入れ

【主体性・協働して学ぶ態度】

③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。

④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。

⑤国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。

赤字は実習科目

学科 現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。

学科 現代ビジネス学部国際社会学科は、国際社会科学を基にして異文化を理解し国際情勢を読み解くための基礎的な知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる国際対話能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成する。

【知識・理解】

(1)人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。
(2)国際社会科学や異文化理解の知識及びその活用方法を身につけている。
(思考・判断)

(3) ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。
(現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。
(関い、意欲・態度)

(5) 関化社会の意識課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。
(6) 自ら課題を探求し、他者と協力しながら自律的、主体的に課題を解決するための意欲と職業的自律を図るための態度を身につけている。
(技能・表現)

(7)外国語で書かれた資料や書類を理解し、必要な情報を的確に読み取り討論や意見交換を行うことができる。
(8) 国際コミューケーションの手段として必要な、英語や韓国語を中心とした国際対話能力を身につけている。

		大学共通		現	代ビジネス学部共	通					
	人文社会自然科学を基础	楚とした幅広い教養を身 (専門性を活用して社会! つけ出し、仲間とともに、 の力を身につける。	こ存在する課題を自ら見 、課題解決していくため	国際社会科学や異文化存在する課題を解決して	理解の専門的な視点から いくための専門的な力を	社会の仕組みの理解 深めたり、社会への参加の意識と可能性を位 げるために活用できる 知識と技能を学部・学 科の専門領域を超えて 広く修得する			
学位授与 の方針		様な人々の考え方を知り、自身が社会にどの	躍していくための基本 的な知識・技能を修得	ことで湧いてきた課題 意識を基に、答えのな	を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係性を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身に	地域特性、政策、地域企業の状況などから把	解決していくための基盤的な知識を修得する	「書く」の4技能をバランスよく高め、海外実習等の実践を通して「使える」英語力を習得する。	識を高め、実践的な学びを通して韓国語を修 得し、留学や海外実習などで国際感覚を身につける。	的な知識を身につけ る。	組織を円滑に運営すために必要なコミュニ
科目区分	外国語	教養教育	基礎科目・キャリア・実技	実習	演習科目	基礎科目	基幹科目	英語コース	ハングルコース	国際コース	関連科目
4年					卒業研究						
3年			キャリアプラン実践		専門演習Ⅲ専門演習Ⅳ		異文化コミュニケーション論 国際社会と福祉 国際法	英語研究2 Advanced Reading Advanced Writing	実用韓国語 日韓交流実践	カルチュラルスタディーズ(宗教) 国際協力実践論 NGO実践論 多文化共生実践論	ホスピタリティ・マネジメン
2年		外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン	インターンファン 事前事後指導 インターレンソフ	専門演習Ⅱ	北九州学ビジネスと法律	比較文化論 日本文化論 比較宗教論 アメリカ文学 イギリス文学 欧米社会論	Advanced TOEIC 1 Advanced TOEIC 2 Communicative English 1 Communicative English 2 Reading Writing 英語学概論 英文法論 英語音声学1 英語音声学2		国際協力論 カルチュラルスタディーズ(思想) カルチュラルスタディーズ(社会) 開発経済論 NGO論 多文化共生論	ファシリテーション実践 対人コミュニケーション
	英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語 I ドイツ語 I 中国語 I 中国語 I 韓国語 I 韓国語 I インドネシア語 I	日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学	キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル (情報リテラシーと調査)	地域連携(社会素献) 地域貢献(まっづくり)	入門セミナー1 入門セミナー2	グローバル・スタディーズ入門 経済学入門 マネジメント入門	Topic Based English 1 Topic Based English 2 国際社会入門1 国際社会入門2 TOEIC 1 TOEIC 2 外書講読				ビジネスとコミュニケーショ
教育課程編成方針	する。 ①学修の基礎となる。 ②外国語運用・意となる。 ②外国語運用・意となる。 ③学修画語、関心・意と、関心・意と、 ③豊かな、技能・表をのでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	知識得で、	のため「入門セミナーが のため「入門セミナーが のため「入門セラカーが 所能力の修 育 本 が 子 で と 表	1」、「入門セミナー2」、「入門セミナー2」、「入門セミナー2」、「英語1A」、「英語1A」、「英語1A」、「大文・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・社会・	」を必修として、また「共和の修として、また「共和の各領域の科目」、「英語2A」、「英語2A」、「英語2A」、「英語2A」、「英語2A」、「英語2A」、「共和の各領域のシープ」、「修知を持ち、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きないでは、「は、いきないでは、「は、いきないでは、「は、いきないでは、「は、いきないでは、「は、いきないでは、これは、「は、いきないでは、これは、「は、いきないでは、これは、「は、いきないでは、これは、「は、いきないでは、これは、いきないでは、これは、いきないでは、これは、いきないでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	アカデミックスキル(思語2B」を必修として関連を配置する。また、地の事業を記事がある。また、地の事がでは、「ラン&プラクティクス」を必要である。「グロースタデンス」を必要である。「アカースを必要である。」では、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人	な人間性と高い教養をは、大間性と高い教養をは、大間性と高い教養をは、大力デミックスをの他にも、では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で	はキル(表現)」を配置 にキル(表現)」を配置 で記しまり、 でないでは、 では、 では、 ででででは、 ででででででででででででででででで	する。【知識・理解、思語・中国語・インドネシ Iに関わる科目を配置 、関心・意欲・態ス」、「 BL型の教度、まで ・2」を学れていまり能・ ・2」を学科の知識・理解 を得する。【知識・理解 を関連する。科目をにおいた。 とは、は、 を学問領域においた。	(考・判断、関心・意欲 ア語の科目を配置する する。【知識・理解、思 する。【知識・理解、思 数・表現】 数学と社会」の各科目 以思書として配置する。さら 、思考・判断】 系列ごとに分けて3のに る。専門知識を体系的に	・態度、技能・表現】 。【知識・理解、思 ・考・判断、関心・意 ・を配置する。【知識 ・策を学生に考えさい。 に国際社会を理解 のコース科目として に修得するため、他の